

動物実験に関する検証結果報告書

防衛医科大学校

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2024年3月

防衛医科大学校  
学校長 四ノ宮 成祥 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会

理事長 三好 一郎



対象機関：防衛医科大学校

申請年月日：2023年7月25日

訪問調査年月日：2023年11月20日

調査員：鈴木 真、佐々木 崇、三浦 竜一、宮下 信泉

#### 検証の総評

防衛医科大学校は所沢市内にキャンパスを有する医科大学校で、医学科と看護学科が設置されている。医学科では、主たる動物実験施設に加えて、研究室がそれぞれ管理する11の小規模な動物実験施設（以下、「小規模施設」という。）で、研究等を目的として実験動物の飼養保管及び動物実験が実施されている。げっ歯類、ウサギ、ブタ等の動物が、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下、「飼養保管基準」という。）」に則して適正に飼養保管されている。また、防衛省の管轄機関であるが、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下、「基本指針」という。）」に適合した「防衛医科大学校動物実験規則」と関連規則等を策定し、動物実験にかかわる基本的な事項や手続きを整備しており、学校長の責任の下で動物実験倫理委員会を設置して、動物実験計画の審査、承認、結果報告等に対応する体制を構築している。

特に、築40年を経た動物実験施設が建物や機材の老朽化にもかかわらず、工夫を重ねて環境維持されている点は評価できる。一方で、小規模施設の標準飼育作業手順書には実験動物を適切に飼養保管する手順が示されているが、整合していない部分も一部で認められる。今後も動物実験倫理委員会を中心とする活動を通じて、基本指針に則した適正な動物実験の実施、及び飼養保管基準に準じた適正な実験動物

の飼養保管に努められたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「防衛医科大学校動物実験規則」を定め、学校長の下で動物実験を実施する体制が整えられている。前回の外部検証において、「基本指針」が定める項目や内容の一部に不備が認められるとの指摘を受け、2020年4月1日付で改正されている。したがって、実験動物に関する機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
公私立大学実験動物施設協議会（以下、「公私動協」という。）が推奨する「動物実験規程（雑型）第3版」が2021年5月17日付で改訂されているので、これも参照し機関内規程等への反映を検討されたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「防衛医科大学校動物実験規則」を定め、3要件の委員からなる動物実験倫理委員会が設置されている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
審査の手順等について委員会規則等で明文化し、委員会活動の推進に努められたい。

### 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験実施報告書」「動物実験倫理審査申請書」「動物実験計画書」「動物実験計画変更申請書」「動物実験継続申請書」「実験動物飼養保管施設設置承認申請書」「動物実験室設置承認申請書」並びに「施設等廃止届」を定めて動物実験を実施している。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>学校長承認欄がない様式が散見されるため、承認が明確になるように様式の改訂を検討されたい。</p>

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「防衛医科大学校組換え DNA 実験安全管理規則」「防衛医科大学校動物実験施設における放射線障害の防止に関する達」「防衛医科大学校研究用微生物等安全管理規則」等が定められており、動物実験施設における安全管理を要する動物実験の実施体制は適正である。したがって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験施設では「標準飼育作業マニュアル」が、11の小規模施設では必要とする項目が網羅された共通の雛形に基づいた「標準飼育作業手順書」がそれぞれで作成され、適正な飼育管理を行う体制が整っている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし。</p>
--------------

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画書の予備審査、委員会審査、動物実験報告書に対する助言がなされており、議事録や各計画書の審査記録も適正に保管されている。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 2022年度には195件の動物実験計画書が承認され、それらすべての報告書が提出されている。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
---

<p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>感染動物実験 23 件、RI 実験 21 件（照射実験のみ）、発がん・重金属実験 4 件、並びに遺伝子組換え動物実験 57 件が学内規程に則して行われている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験について、自己点検・評価結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験施設と研究室が管理する小規模施設でそれぞれの標準飼育作業手順書に則して実験動物の飼養保管が実施されている。しかし、一部の小規模施設の中には、明暗管理や温湿度管理等で不十分な施設が見られた。したがって、実験動物の飼養保管状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>小規模施設の標準飼育作業手順書の内容を見直すとともに、動物実験倫理委員会による視察の回数を増やす等により、適正な飼養保管の徹底を図りたい。</p>

#### 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
--



<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験施設は築 40 年を経て建物や機材の老朽化が認められるが適正に管理されている。11 の小規模施設では、各施設に管理者、実験動物管理者を置いて施設の維持管理を行っているが、飼育管理記録、施錠・入退室管理、整理整頓、保護具の整備等に見直しが必要な施設が一部で見られる。したがって、施設等の維持管理の状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験倫理委員会が小規模施設を視察した際に、改善に向けた指導を行うとともに、動物施設施設への集約に向けた働きかけに努められたい。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験や実験動物の飼育にかかわる研究者や学生に対する教育は毎年行われている。また、実験動物管理者、実験実施者、飼養者の別に応じて必要とされる教育訓練も実施されている。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

## 7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
--

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価は毎年実施され、公私動協が要請したすべての項目がホームページに掲載され、情報公開がなされている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

RI 施設を改修して新たな動物実験施設を設置し、各研究室の小規模施設を集約させる計画が進行中である。小規模施設での実験動物の飼養保管や施設の維持管理の状況は、さまざまな観点から改善の余地があるため、集約化を促進して動物実験施設の管理の下で適切な飼養保管が実施されるよう努められたい。

日実動学-外検発 第R6-10号-証

# 検証実施証明書

防衛医科大学校  
学校長 四ノ宮 成祥 殿

貴機関は 公益社団法人日本実験動物学会  
外部検証委員会による「動物実験に関する  
外部検証事業」による自己点検・評価を行い  
その結果に対する検証を本委員会が実施した  
ことを証します

2024年3月10日

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 三好 一郎



No.2023-10

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



## CERTIFICATE

President President Nariyoshi Shinomiya  
National Defense Medical College

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certify that National Defense Medical College received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2023".

Sincerely yours

10 March, 2024

Ichiro Miyoshi DVM PhD  
DJCLAM  
President  
JALAS

Chihiro Koshimoto PhD  
Chairman  
Assesment and Verification  
Committee, JALAS